

他者との出会いで、自分も磨かれる。

引き続いて夏の活動を振り返ります！8月6日～7日にかけて、日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センターでリーダーシップ・トレーニングセンターに参加しました。赤十字奉仕団の皆様と「ボランティアサービス方式」での共同生活をしました。高校生主体で生活ルールを提案し、改善、運営しながら、自主性を学ぶ取り組みです。様々な講義を通して救急や防災についても学ぶことができました。共同生活では、意見が割れる場面が多く見られました。そこにこそ成長の鍵があったと感じています。「意見の違いを超えて、集団で成果を出すためにはどうするのか」が本当のリーダーシップであると思います。これをシェアド・リーダーシップ(Shared Leadership)と呼ぶそうです。周囲を巻き込みながら、周囲にも良い影響を与える力。私自身、学ばせて貰いました！一緒に磨いていきましょう



また8月22日は子ども班の5名が尼崎ユース交流センター主催の青フェスにて「スーパーボールすくい」と「千本引き」を出店しました。青フェスとは「高校生が中心となって、地域の活性化を目指す取り組み」です。自分達でどうすれば子ども達が楽しめるか考え、当日も運営を行いました。結果、100名を超える市民の方々に来場いただき、子どもや保護者、高校生が交流することで、自然と笑顔があふれる素敵な場所となりました。

「幼児や児童はかつての自分であり、高齢者は必ずそうなる自分」ということを私達はつい忘れてしまいます。だからこそ地域に出て、初対面の他者や異なる世代同士が交流する。この勇気を持った一歩で、他者との中で新しい自分に出会うことができると思います。今回は大成功でした。今後の活動にも期待していきましょう。



担当者のつぶやき

「予定調和」というものがあります。「たぶんこうなるだろうという安心感のこと。」大抵の新しい環境には最初はこのないで、「どんな人なのか、何を話せば、どう関われば」と悩みます。誰でも初めては不安です。しかし、看護医療・健康類型の生徒と地域活動をする中で、この「不安を乗り越えた先しか見えないもの」があるのだと強く感じました。高校生が地域に出ることで他者と出会い、自分と出会う。異なる世代と交流して、同世代とは違う関わり方や価値観を学び、さらに新たな自分と出会う。「他者との出会いで自分も磨かれる。」生徒の皆を見ながらこれを強く感じました。二学期以降も多くのイベントや交流の機会が予定されています。少しの勇気を出せば見えるものがあるかもしれない。ぜひ少しの勇気を持って！ご参加お待ちしております。